

武漢事務所週刊ニュース（2015年8月29日～9月4日）

金掘り“未来新石油”

華中で初めてのデータ取引所が光谷雲村に入籍する

8月31日 和迅ネット

昨日、華中で初めてのデータ取引所「長江ビッグデータ取引所」が武漢未来科技城光谷雲村に設立した。全面的に“未来新石油”の発掘に臨む。

長江ビッグデータ取引所は独立した第三者データ取引のプラットフォームであり、即時のデータサービス提供やデータ製品取引、データレンタルサービスなど30種類の標準取引サービスを実施し、データ取引業界のナスダックを育てようとしている。

さしあたってはビッグデータ連盟の設立を計画しており、データ生産、採集、洗浄、加工、応用などを含む川上、川下企業を集めようとしている。ビッグデータは“未来新石油”と呼ばれる。統計によると、去年全世界ビッグデータ市場規模が285億ドルに達し、前年比で53.2%増えている。

今は武漢未来科技城がホアウェイ、ドイツ電信、シーメンス、武漢天雲、武漢智慧都市研究院、泰迪智慧などビッグデータ及び関連企業60社を引きつけ、科学技術者6000人以上を集めている。

21 本のバスが園林博覧会に直行する

9 月 01 日 湖北日報

園林博覧会が来月開幕する。武漢市バス会社がバス線路調整方案を公布し、21 本のバスが園林博覧会に直接行けるようになる。方案によると、園林博覧会 5 つの玄関には 8 つのターミナルを設け、9 線路を新設し、3 線路を取り消す。

調整後には、漢口地区・武昌地区・漢陽地区の三鎮すべての住民がバスで直行できる。漢口だと、堤角辺りの住民が 790 号バスで直行できる；後湖周辺の場合、620、725、790 号のバスで直行できる；その他のエリアだと、解放大道或いは常青路まで乗継で良い。

武昌地区の市民が 701、725 号バス；或いは 2 号線でバスに乗継。

漢陽地区の市民が 701、646、589 号バスで直行できる。